

ふじいでらしの

「家計簿」

令和元年度決算



藤井寺市公式キャラクター
『まなりくん』

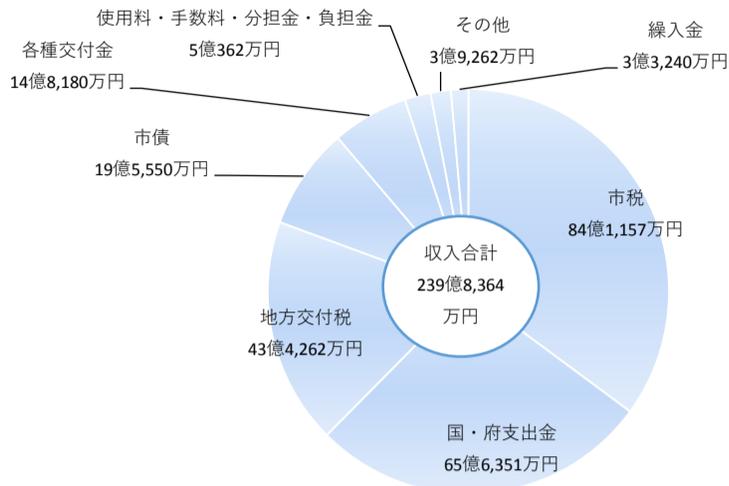
もくじ

1. 令和元年度の決算を見てみよう …… 1 ページ
- ① 藤井寺市の収入はどれくらい？
 - ② 藤井寺市の支出はどれくらい？（目的別と性質別）
 - ③ 家計簿に置き換えてみると？
2. 藤井寺市の貯金と借金を見てみよう …… 5 ページ
- ① 貯金はどれくらいあるの？
 - ② 借金はどれくらいあるの？
3. 二つの指標で藤井寺市の健康診断 …… 8 ページ
- ① 自由に使えるお金の割合をチェック
 - ② 借金返済の負担が大きすぎないかをチェック
4. 藤井寺市の課題と取り組み …… 10 ページ
- ① 貯金がなくなる？
 - ② これまでの計画と収支の見通し
5. 藤井寺市民のみなさんへ …… 13 ページ
- 用語解説 …… 14 ページ

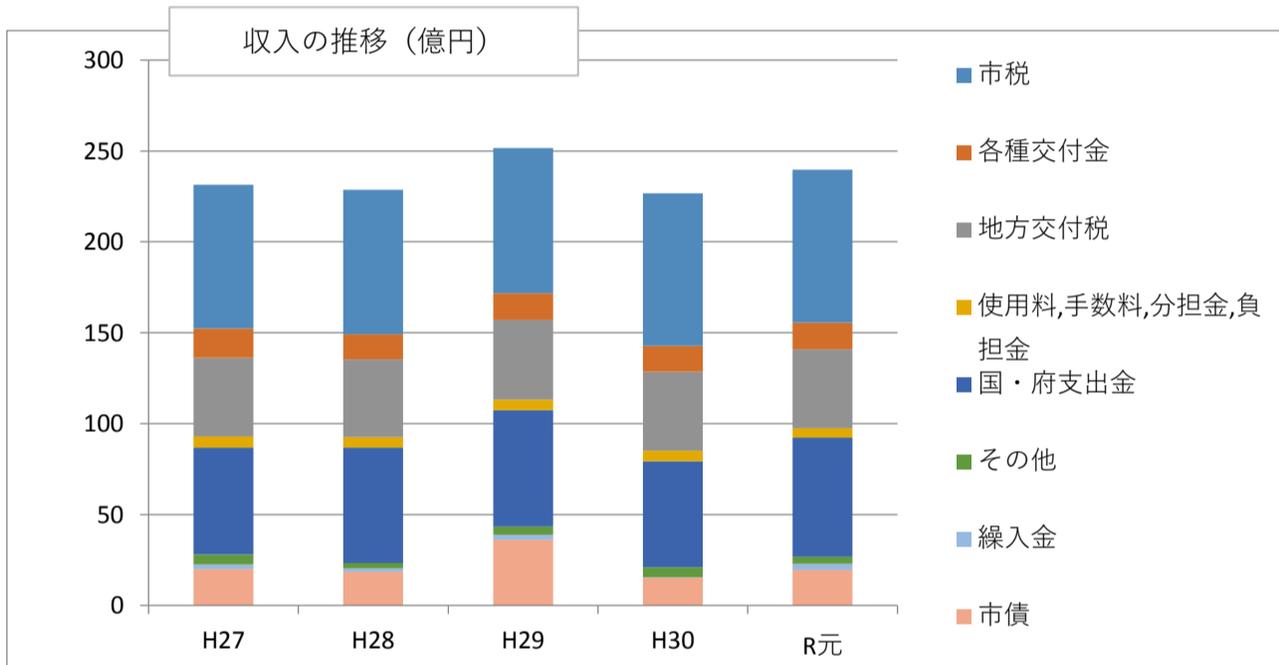


1. 令和元年度の決算を見てみよう（※普通会計）

①藤井寺市の収入はどれくらい？



※普通会計
自治体の財政状況を比較するための統計用の会計。



区分	H27	H28	H29	H30	R元
市税	7,909,909	7,928,996	7,969,925	8,391,573	8,411,568
各種交付金	1,619,008	1,397,822	1,477,119	1,429,562	1,481,797
地方交付税	4,330,727	4,266,022	4,383,107	4,351,936	4,342,623
使用料,手数料,分担金,負担金	602,231	577,697	583,503	563,800	503,621
国・府支出金	5,890,837	6,346,124	6,406,949	5,835,022	6,563,509
その他	556,603	304,243	453,423	561,540	392,615
繰入金	239,766	181,082	261,309	9,325	332,403
市債	1,998,600	1,851,900	3,620,400	1,531,600	1,955,500
合計	23,147,681	22,853,886	25,155,735	22,674,358	23,983,636

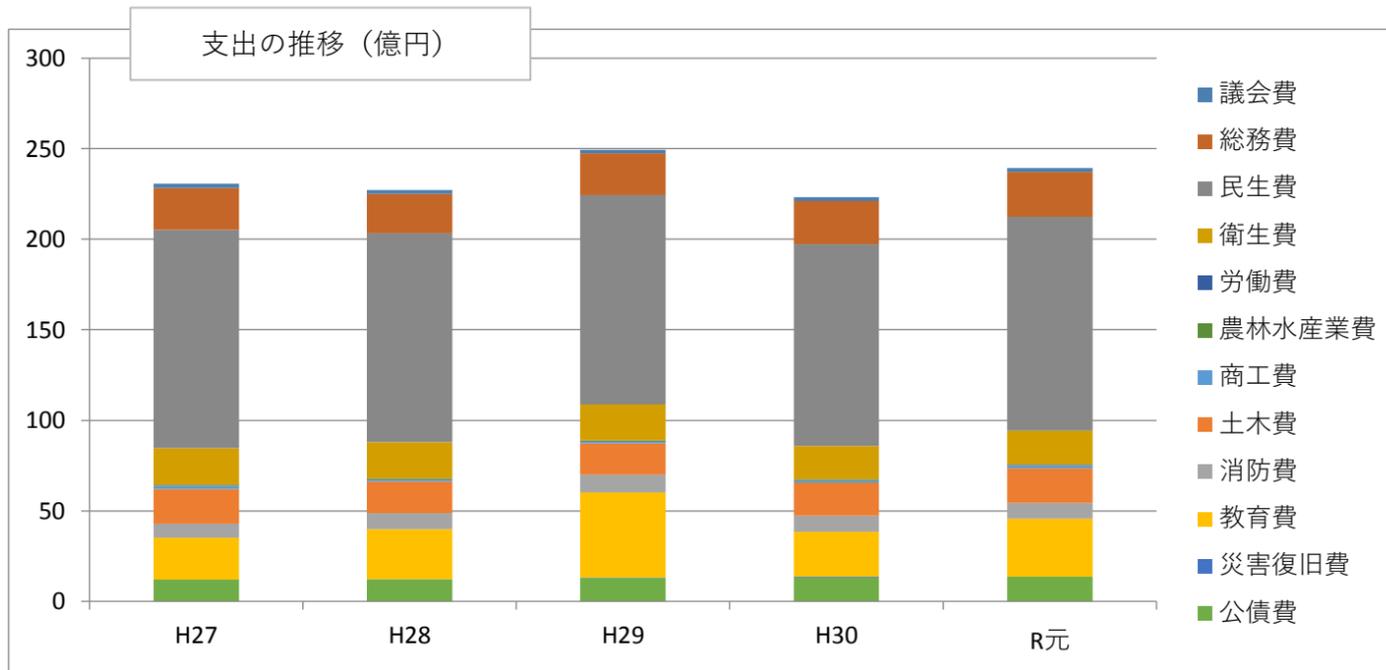
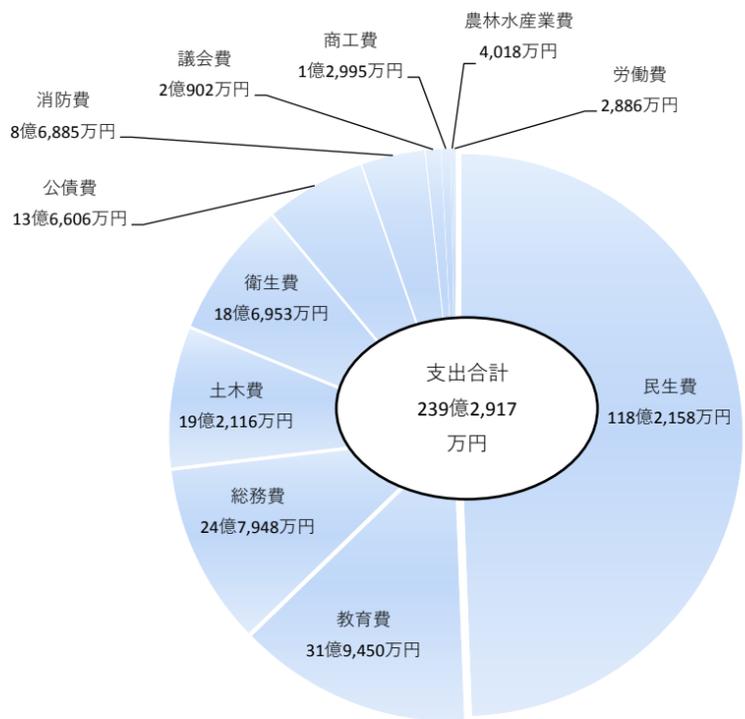
千円



収入には、市税（皆さんからの税金）をはじめ、国や府からの補助金などがあるナリ。そのほか、市債（借金）や繰入金（貯金の取り崩し）によって、やりくりしているナリよ。

令和元年度の収入総額は約239億8千万円で前年度と比べて約13億1千万円、約5.8%増加しているナリ。国・府支出金が約7億3千万円増加していることが主な原因ナリ。

②藤井寺市の支出はどれくらい？（目的別）



区分 (目的別)	H27	H28	H29	H30	R元
議会費	226,915	206,652	204,172	205,650	209,017
総務費	2,325,093	2,169,853	2,308,618	2,384,167	2,479,484
民生費	12,063,110	11,553,811	11,563,898	11,158,192	11,821,583
衛生費	2,015,554	1,992,096	1,980,791	1,845,882	1,869,529
労働費	38,152	32,378	27,102	28,557	28,855
農林水産業費	42,125	37,638	36,556	36,757	40,177
商工費	171,110	91,366	96,800	104,801	129,952
土木費	1,900,207	1,756,933	1,725,545	1,842,883	1,921,164
消防費	770,852	890,284	979,482	879,107	868,853
教育費	2,316,957	2,752,535	4,718,152	2,478,659	3,194,497
災害復旧費	0	0	2,824	36,722	0
公債費	1,206,145	1,236,140	1,307,141	1,327,486	1,366,059
合計	23,076,220	22,719,686	24,951,081	22,328,863	23,929,170

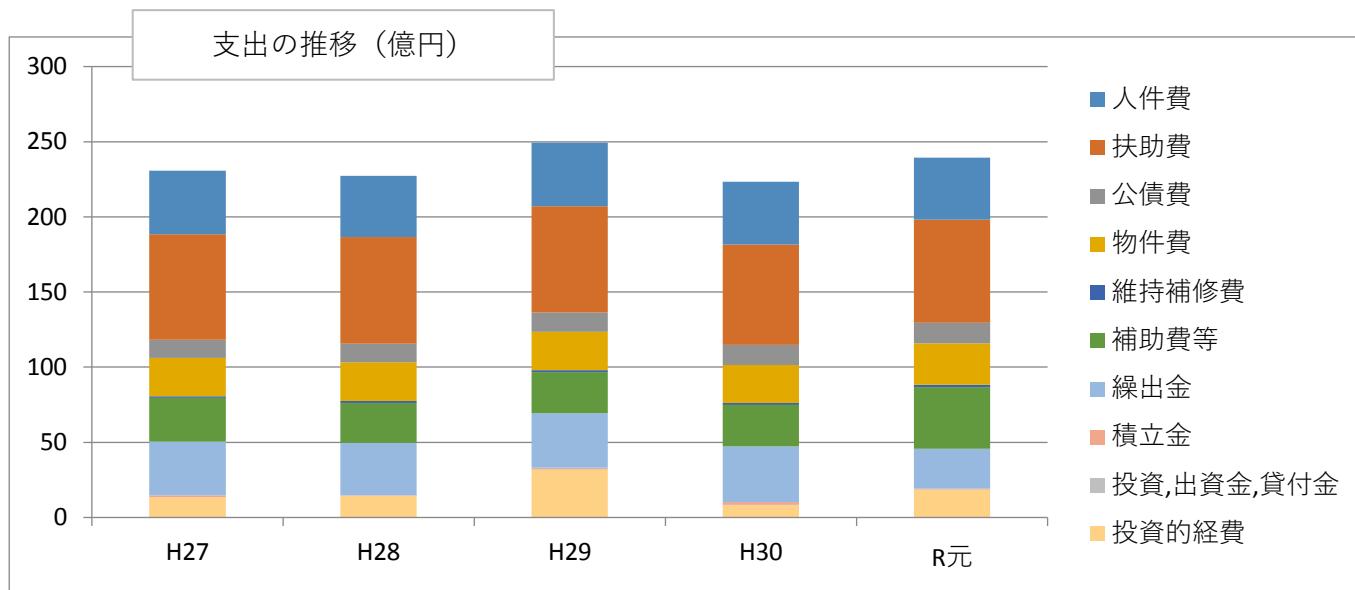
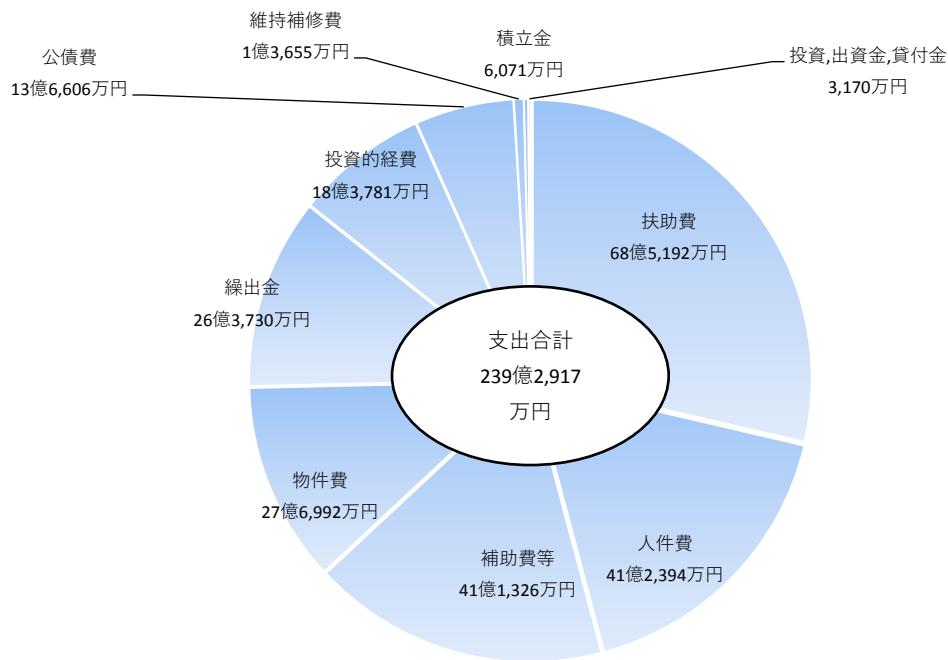
千円



お金をどんな目的で使ったかという視点（目的別）で見ると、民生費（子ども、高齢者や障がい者などの福祉サービスにかかるお金）が約118億2千万円と一番多くを占めているナリ。

令和元年度の支出合計は約239億3千万円で前年度と比べて約16億円、7.2%増加しているナリ。教育費が約7億2千万円増加（小中学校空調PFI事業など）しているのが主な原因ナリ。

②藤井寺市の支出はどれくらい？（性質別）



区分 (性質別)	H27	H28	H29	H30	R元
人件費	4,234,268	4,072,255	4,232,290	4,157,293	4,123,937
扶助費	7,011,517	7,079,136	7,073,606	6,688,690	6,851,918
公債費	1,206,145	1,236,140	1,307,141	1,327,486	1,366,059
物件費	2,543,772	2,587,428	2,548,870	2,526,563	2,769,922
維持補修費	127,638	110,935	129,443	148,263	136,548
補助費等	2,917,905	2,664,372	2,714,380	2,745,757	4,113,258
繰出金	3,574,511	3,506,255	3,627,089	3,708,249	2,637,303
積立金	121,122	24,030	89,932	198,384	60,713
投資,出資金,貸付金	0	0	39,100	3,200	31,700
投資的経費	1,339,342	1,439,135	3,189,230	824,978	1,837,812
合計	23,076,220	22,719,686	24,951,081	22,328,863	23,929,170

千円

さっきはお金をどんな目的に使ったかという視点で見たけど、今度は使ったお金がどんな性質だったかという視点（性質別）で見てみるナリ。

前年度と比べると、投資的経費（道路や学校等の建設・整備等にかかるお金）や補助費等（各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など）が増加し、繰出金（市の特別会計へ支出したお金）が減少しているナリ。



③家計簿に置き換えてみると？



収入・支出を見てみたけど、色々な専門用語があってわかりにくくて実感しづらいナリ！もっとわかりやすくできないナリ？

市の収支は、家計とは異なるものですが、少しでも実感しやすいように平成30年度の収入を月収30万円に置き換えて作った家計簿を見てみましょう。

収入	H30	R元
給料（市税・地方交付税など）	19.0	19.1
医療費や家の改修などに対する助成金（国・府支出金）	7.9	8.8
家の改修などのために金融機関から借金（市債）	2.0	2.6
長男が毎月納める食費など（諸収入）	1.0	0.8
株の配当や貯金の利子（財産収入）	0.0	0.0
貯金を取り崩し（繰入金）	0.0	0.4
合計	30.0	31.7

万円/月

支出	H30	R元
食費（人件費）	5.5	5.5
医療費や保育料（扶助費）	8.8	9.1
住宅ローンなどの借金返済（公債費）	1.8	1.8
家の改修、家具の買い替えなど（投資的経費や維持補修費）	1.3	2.6
学費・光熱水費・日用品費（物件費）	3.3	3.7
下宿している次男への仕送り（繰出金）	4.9	3.5
ローン返済等に備えた貯金（積立金）	0.3	0.1
雑費（その他）	3.6	5.5
合計	29.5	31.7

万円/月

貯金と借金	H30	R元
ローン返済等のための貯金（基金）残高	2.7	2.6
ローン等の借金（市債）残高	24.7	25.7

万円



令和元年度は平成30年度と比べると、貯金を取り崩しての生活になってしまっているナリ。家の改修のために借金をしたから、借金残高も増えてしまったナリ。

2. 藤井寺市の貯金と借金を見てみよう

①貯金はどれくらいあるの？

藤井寺市には目的に応じた様々な貯金（基金）があるナリ。主な貯金を紹介するナリ。

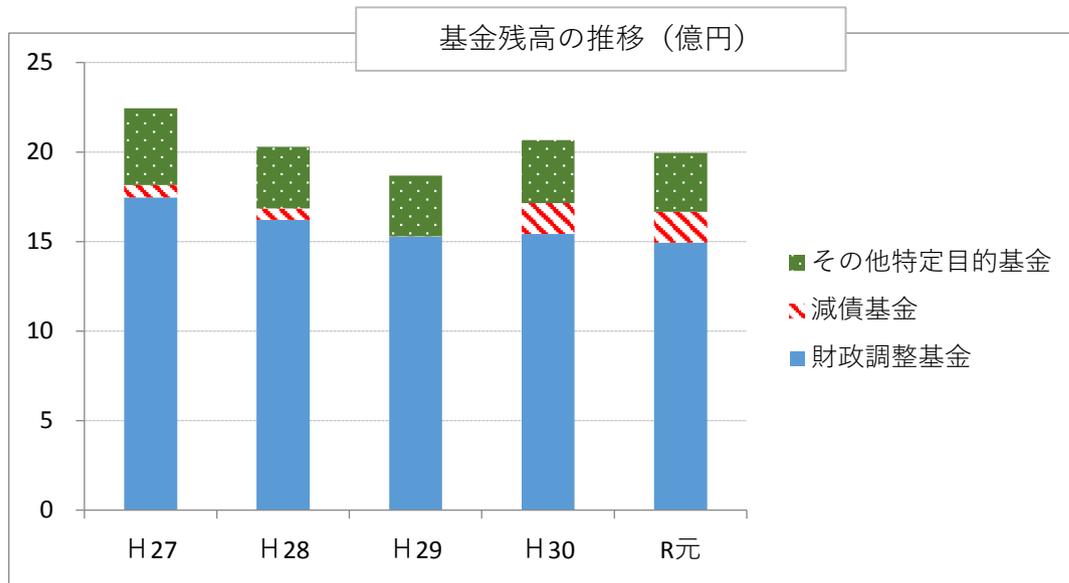


基金の名称 (設立年月)	令和元年度末残高	基金の目的	
財政調整基金 昭和55年3月設置	14億9,334万円	年度間の財源の不均衡を調整し、計画的な財政運営を行うため。	
減債基金 平成元年12月設置	1億7,185万円	市債の返済に備えるため。	
その他 特定 目的 基金	公共施設整備基金 昭和46年3月設置	2億1,286万円	公共施設の整備を図るため。
	福祉基金 平成2年9月設置	732万円	福祉事業の推進を図るため。
	市民病院施設整備基金 平成10年3月設置	3,725万円	病院施設の整備を図るため。
	国際交流基金 平成元年12月設置	302万円	国際交流事業の推進を図るため。
	古代史料整備基金 昭和56年9月設置	2,633万円	市立図書館における古代史料の整備を図るため。
	職員退職手当基金 平成10年3月設置	14万円	職員の退職手当の支給に要する経費に充当するため。
	ふるさとまちづくり 応援基金 平成26年10月設置	4,116万円	規定する事業の財源として、まちづくり応援寄附金を積み立て、管理、運用するため。
	森林環境譲与税基金 令和元年7月設置	247万円	森林の整備及び木材利用の促進を図るため。

Q. どうして貯金するナリ？

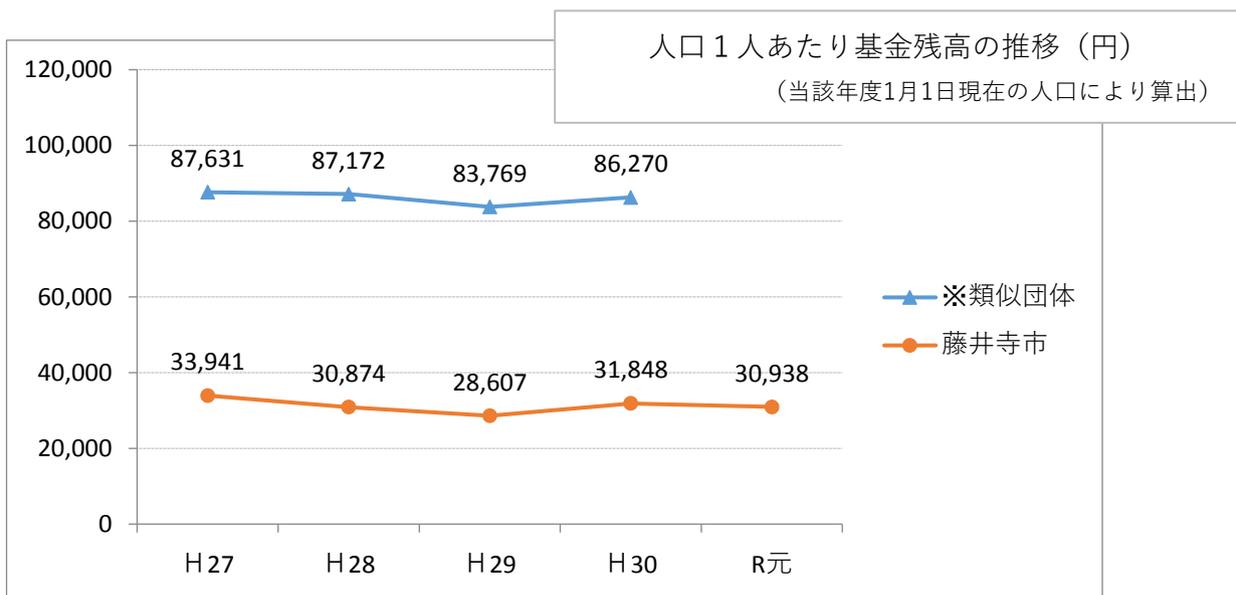


A. 決算・家計簿で見てきたように、収入も支出も経済状況等により変化し、一定ではありません。ですので、安定した住民サービスや事業推進のために、災害や経済情勢の悪化などいざという時に備えて貯金しておく必要があります。



	H27	H28	H29	H30	R元
財政調整基金	1,745,841	1,620,570	1,528,175	1,542,549	1,493,341
減債基金	70,588	63,745	1,849	171,850	171,852
その他特定目的基金	427,666	345,444	338,358	353,043	330,559
合計	2,244,095	2,029,759	1,868,382	2,067,442	1,995,752

千円



※類似団体とは、人口規模や産業構造に近い自治体のことで、藤井寺市と他市を比較したい時によく用いられるナリ。

藤井寺市の令和元年度末の基金残高は前年度末に比べて約7千万円減少していて、これは、財政調整基金を取り崩したことで約5千万円減少したことが一番の理由ナリ。財政調整基金残高は平成27年度と比べて約2億5千万円も減少しているナリ。類似団体と比べても少なく、いざという時のためにももっと貯金しておきたいところナリ。

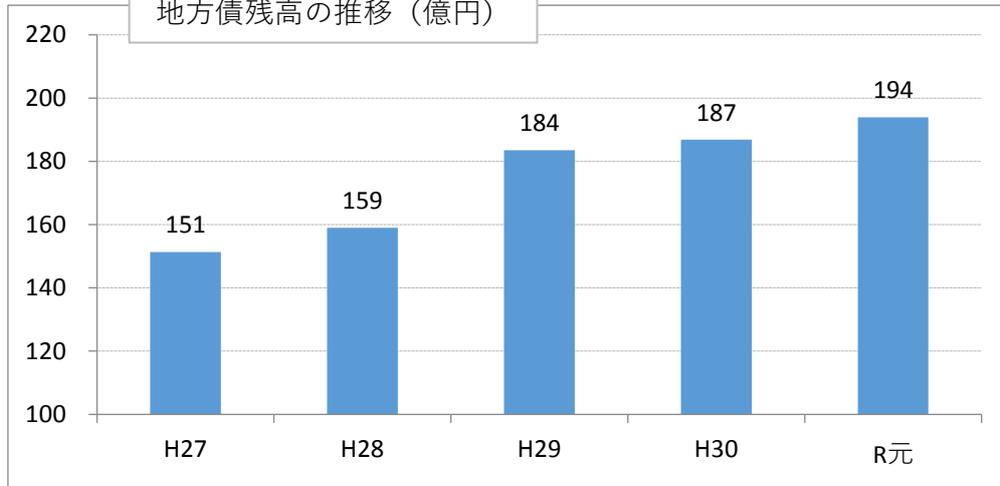
②借金はどれくらいあるの？

Q. どうして借金するナリ？



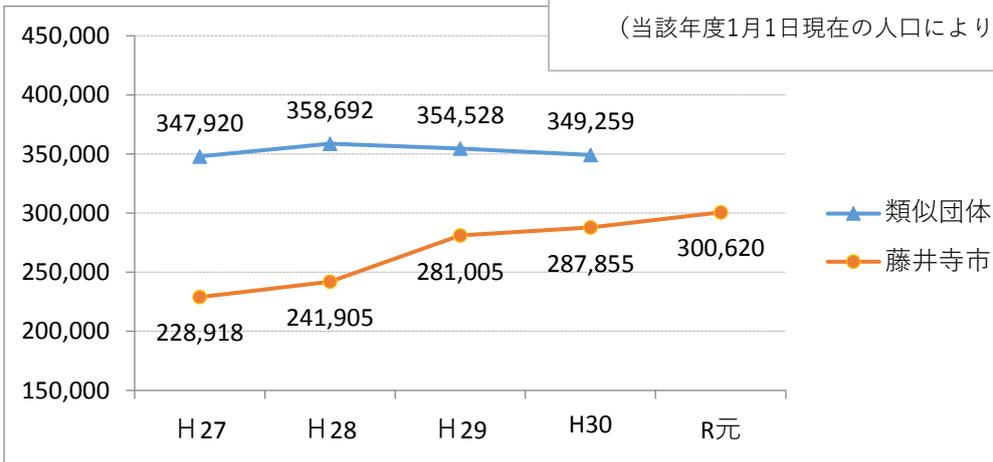
A. 市の借金を市債（地方債）とって、公共施設の建設や道路の整備などをするためにお金を借りています。借金の理由には資金の調達以外にも、多額の経費が単年度に集中するのを防ぎ、将来にわたって平等に費用を負担するという調整の役割もあります。

地方債残高の推移（億円）



人口1人あたり地方債残高（円）

（当該年度1月1日現在の人口により算出）



令和元年度末の地方債残高は前年度末に比べて約7億円増加しているナリ。これは、小中学校空調PFI事業などのために借金をしたのが原因ナリ。類似団体より低い数値ではあるけれど、年々増加しているから、将来の財政負担が大きくなり過ぎないように注意しないといけないナリ。

3. 二つの指標で藤井寺市の健康診断

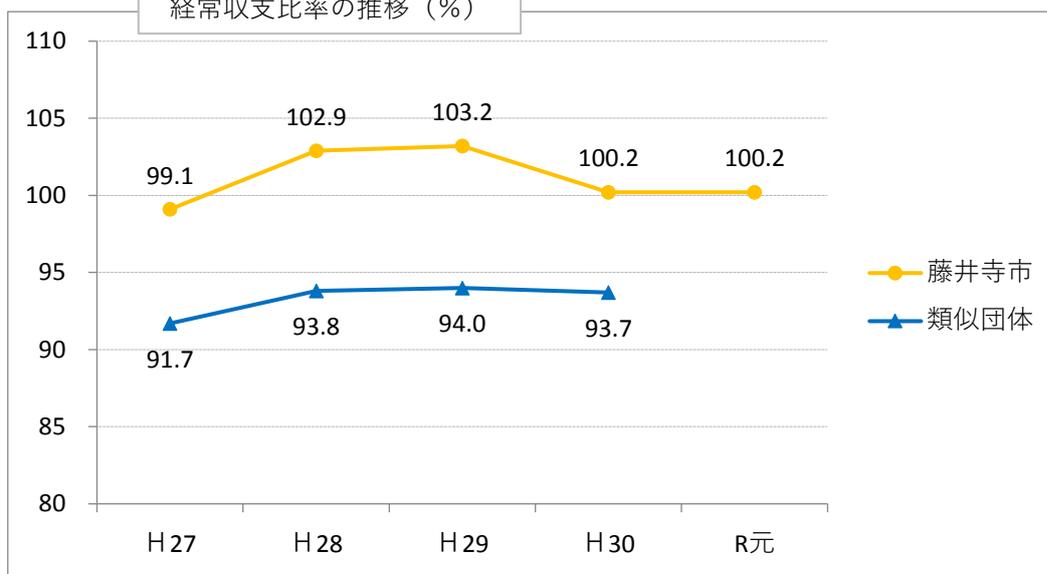
①自由に使えるお金の割合をチェック（経常収支比率）

経常収支比率とは、市税や地方交付税などの毎年入ってくる自由に使えるお金が、義務的経費等（人件費、扶助費、公債費など）にどのぐらいの割合で充てられているかを表していて、簡単にいうと「自由に使えるお金の割合はどれぐらいか」を示す指標ナリ。

100%を超えると自由に使えるお金がない（家計でいうと、基本的な給料だけでは最低限の生活費をまかなえていないという状態）ということになるナリよ。



経常収支比率の推移（%）



令和元年度の経常収支比率は前年度と同じ100.2%だったナリ。平成28年度以来4年連続で100%を超えてしまっていて、類似団体より高い割合が続いているナリ。

今後も経費抑制や税収増を図り、なんとか100%を下回るよう改善に努めないといけないナリ。



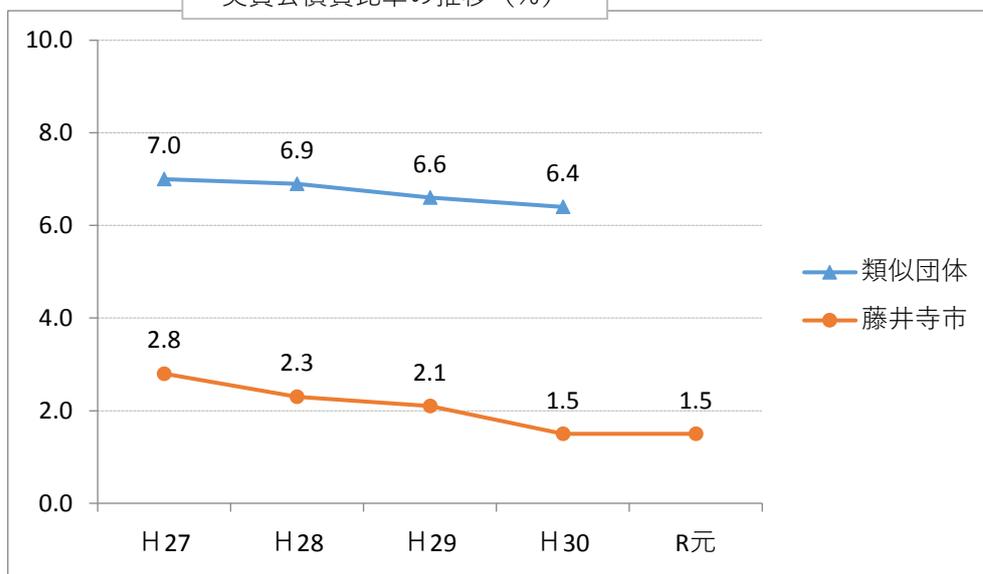
②借金返済の負担が大きすぎないかをチェック（実質公債費比率）

実質公債費比率とは、収入の規模に対して借金の返済額がどれぐらいの割合になっているかを表していて、簡単にいうと「借金の返済額の負担はどれぐらいか」を示す指標ナリ。

18%を超えると国から危険信号が出されて、自由に借金ができなくなるナリよ。



実質公債費比率の推移（%）



今のところは順調に推移しており、類似団体よりも低い数値を保っているけど、地方債残高の増加に合わせて今後は悪化していく見通しナリ。

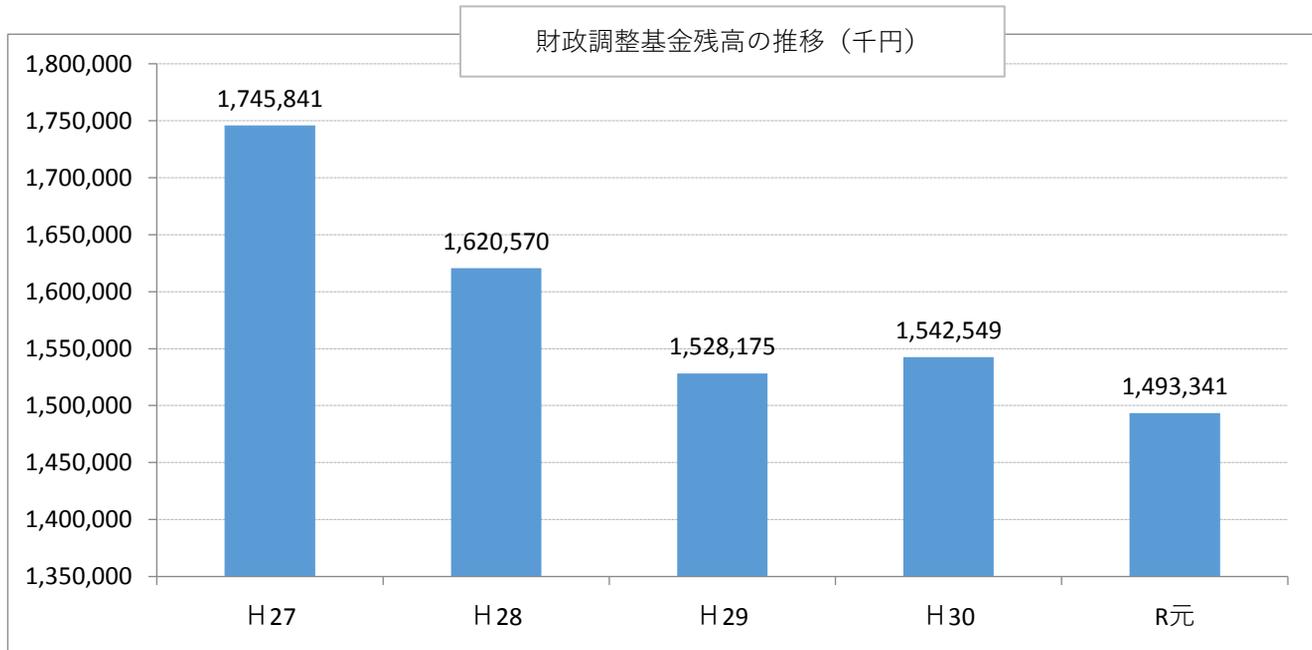
今後の地方債の発行を最小限に抑えつつ増収を図り、地方債に過度に依存しない財政運営に努めないといけないナリ。

4. 藤井寺市の課題と取り組み

①貯金がなくなる？



貯金のところで説明した財政調整基金について詳しく見てみるナリ。



年度末残高	H27	H28	H29	H30	R元	
財政調整基金	1,745,841	1,620,570	1,528,175	1,542,549	1,493,341	
増減額		-171,957	-125,271	-92,395	14,374	-49,208

千円



平成27～29年度の3年間で約3億9千万円の貯金を取り崩して、後10年程度で貯金がなくなるペースだったナリ。

平成30年度は市税の増加などに助けられて、平成24年度以来6年振りに貯金できたんだけど、令和元年度はまた取り崩すことになったナリ。

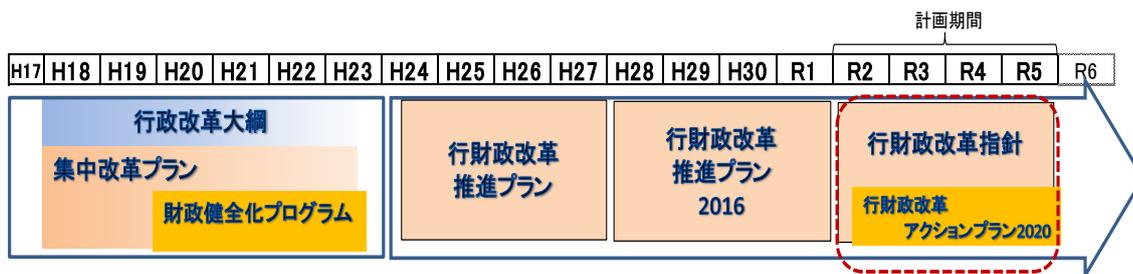
もし貯金がなくなり、赤字が続くようになると、最終的には行政サービスの低下や市民の負担増加に繋がってしまうナリ。学校や公園等の整備ができなくなったり、水道料金や各種税金の引き上げ等、考えたくないことばかりナリ。

②これまでの計画と収支の見通し

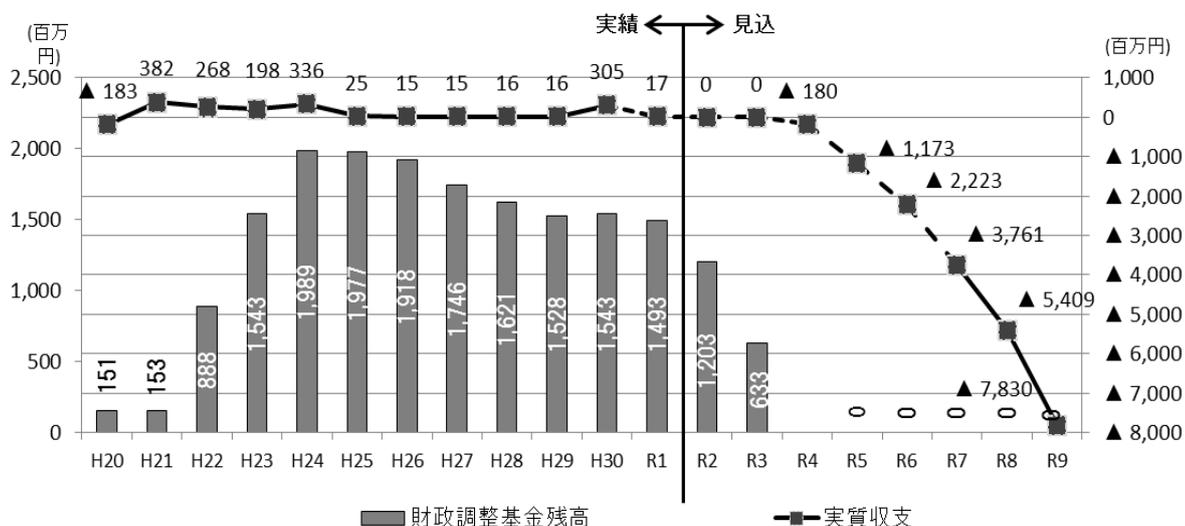
これまでの計画を整理してみたナリ。

市制施行後、初めての赤字決算となった平成18年度以降、切れ目ない行財政改革に取り組んできたナリ。

令和元年度まで取り組んできた「行財政改革推進プラン2016」では4年間の想定効果額が約7億9千万円で、そのうち令和元年度は約2億7千万円の想定効果額があったナリ。



令和元年度から令和9年度の普通会計実質収支と財政調整基金残高の見通し



※上図は令和元年度決算時の状況を基に作成したものです

この収支の想定では、不足する収入を補填するために貯金（財政調整基金）を取り崩していき、令和4年度には貯金がなくなって赤字になってしまう見込みナリ。貯金がなくなってからは雪だるま式に赤字額が増えていくナリ。

慢性的な赤字体質から抜け出すために予算編成方法の見直しなど、令和2年度に策定した「行財政改革アクションプラン2020」に取り組んでいるナリ。



行財政改革アクションプラン2020集中改革項目（抜粋）

協働によるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動等の活性化や行政との協働の推進 ・タウンミーティングの実施など
持続可能な財政基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源ベースによる予算要求の実施とシーリング方式の適用 ・基準外繰出金の抑制など
事業・施設の最適化	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用による市民サービスの向上及び業務改善 ・電子決裁の導入など
組織の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・組織機構（部、課・室、担当の数）の見直しによる管理職数の抑制 ・兼務、プロジェクトチーム等による組織のスリム化、職員数の削減など
その他の行財政改革に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・警備体制の見直し（機械警備化） ・委託業務の見直しなど



取組項目を着実に進めて、右肩下がりの収支見通しを改善させていかないといけないナリ！

市民のみなさんにご協力をお願いするものや、職員の負担が増すものもあるけど、藤井寺市の発展のために以下の目標達成を目指して取り組んでいくナリ！

【プラン2020取組目標】

(1) 歳入の範囲での予算編成

財政調整基金、その他雑入等に頼る予算編成の見直し

(2) 聖域なきシーリング設定による予算編成

効果額を時代に合った行政サービスの強化へ充当

(3) 最少の経費で最大の効果

職員のスキルアップ、事務の見直し等による人員、人件費の適正化

(4) 将来への備え

財政調整基金、公共施設整備基金等への計画的な積み立て

【プラン2020数値目標】

(1) シーリング設定による歳出削減

令和3年度2%減、令和4年度3%減、令和5年度4%減

※令和元年度決算額比（一般財源ベース）

※削減額の一部を時代に合った行政サービスの強化学業費へ充当

(2) 実質単年度収支の黒字化

(3) 経常収支比率90%台の維持

(4) 財政調整基金残高20億円以上の達成

5. 藤井寺市民のみなさんへ



藤井寺市の令和元年度の決算は、財政調整基金を取り崩して黒字を確保する厳しい結果だったナリ。

依然として経常収支比率は100%を超えていて、経常的な収入で経常的な支出をまかなえていない状況ナリ。

新型コロナウイルス感染症対策、公共施設の耐震化、老朽化への対応、観光資源を活かしたまちのにぎわい創出、今後発生が予想される大規模災害への対策等、課題はまだ山積みナリ。

このまま市の財政状況が悪化していけば、市民サービスの低下や負担の増加に繋がりがねないナリ。そうならないためにも、行財政改革アクションプラン2020を中心として粘り強く行財政改革に取り組み、「健全な行財政運営の実現」と「時代に合った行政サービスの強化」を実現していくナリ。

また、市では2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す開発目標の「SDGs」に共感し、公共の福祉の増進のため「藤井寺市SDGs取組方針」を定めて取り組んでいるナリ。市民のみなさんにもその趣旨を理解してもらい、積極的な市内でのお買い物、家庭で排出されるごみの減量化、省エネルギー・節電の推進、市政への意見を寄せていただく等、できるかぎりの協力をお願いするナリ。

今後のより良い行財政運営のため、広く皆さんからの意見をいただきながら、取り組んでいくナリ。

藤井寺市のホームページでは、財政状況や、行財政改革アクションプラン2020について、より詳細な資料を掲載しています。

ホームページ>市政>行財政

<https://www.city.fujiidera.lg.jp/shisei/gyouzaisei/index.html>



用語解説

用語		説明
あ	ICT	インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジーの略で、情報技術に通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉。
	一般財源	財源の用途が特定されず、どのような経費にも使用することができるもの。
	維持補修費	自治体が管理する公共用施設等を補修するなどし、その効用を維持するための経費。
	衛生費	特定健診や予防接種などの保健に要する経費や、ゴミやし尿処理などの安全で衛生的な生活のために要する経費。
	SDGs	SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年の国連サミットで採択された、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。
か	貸付金	地域住民の福祉増進や地域の振興を図るため、現金の貸付を行うための経費。
	議会費	議会の運営に要する経費。
	義務的経費	人件費、扶助費、公債費の3つからなり、支出が義務づけられている硬直性の強い経費。
	教育費	幼稚園や小中学校、公民館、体育館の運営の費用など、教育全般に要する経費。
	繰出金,繰入金	一般会計、特別会計及び基金の間で、相互に資金運用をするもの。その会計から他の会計に資金を移す場合を「繰出」、他の会計からその会計に資金が移される場合を「繰入」という。
	国・府支出金	国や府が行うべき事業を市へ委託する場合や、市が行う事業に対して一定の割合で補助する場合に交付されるお金。
	経常収支比率	人件費、扶助費、公債費等の経常的経費に、地方税や普通交付税を中心とする経常的一般財源がどの程度充当されているかを表す比率。
	決算	一般会計年度の歳入歳出予算の執行の実績。
	公債費	資金調達のために借り入れた市債の元利償還金など。
さ	災害復旧費	道路、橋りょう等の公共土木関係施設や、ため池、林道等の農林業施設などが、台風等により被災した際に復旧に要する経費。
	実質公債費比率	市債の返済額等の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すもの。特定財源等が措置されるものを除く実質公債費相当額の、標準財政規模に対する比率。
	商工費	商工業や観光の振興に要する経費。
	消防費	消防団の維持や災害対策に要する経費。
	人件費	職員給与のほか、議員、各種委員報酬、特別職給与共催費などを総称したもの。
	総務費	人事、企画、財政、徴税、戸籍、選挙、統計や交通安全など、市の総括的な事務事業に要する経費。
た	地方交付税	国が地方公共団体（府市町村）に交付するお金。税収入の不均衡を調整することで、一定の行政サービスを担保するためのもの。
	投資,出資金	財産を有利に運用するための国債などの取得や、公益上の必要性による株式の取得などに要する経費。このほか、財団法人設立の際の出損金や、開発公社などへの出資も該当する。
	投資的経費	公共施設等の社会資本整備など、支出の効果が長期にわたる経費。
	特別会計	市が特定の事業を行う場合に、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計を区別して個別に処理する必要がある場合に、設置することができる会計。
	土木費	道路、橋りょうや公園の整備運営、都市計画道路事業などに要する経費。
な	農林水産業費	農道やかんがい施設の整備、営農の活性化、森林・林道の機能保全などに要する経費。
は	PFI	公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。
	扶助費	社会保障の一環として、高齢者、児童、障害者等に対して行っている様々な扶助（援助）に要する経費。
	普通会計	地方財政に関する統計などに用いられる会計で、一般会計に公営事業会計を除く特別会計を合算し、重複額を控除して表現する会計。
	物件費	人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の、自治体が支出する消費的性質をもつ経費。
	分担金,負担金	市が特定の事業に要する経費に充てるために、その事業によって利益を受けるものに対して徴収するお金。
	補助費等	各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など。
ま	民生費	障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、福祉医療など、福祉全般に要する経費。
ら	労働費	雇用創出のために要する経費。